

会話における否定表現の使用傾向

野田春美 (神戸学院大学)

1. はじめに

本発表では、漫画と会話コーパスを資料として、日本語の会話における否定表現の使用傾向を見る。狭義の否定文だけでなく、否定辞「ない」「ぬ(ん)」「ず」を含む表現を広く調査の対象とする。

2. 否定を含む疑問表現の概観

否定を含む疑問表現には、「寒くない？」のような否定疑問だけでなく、「風邪ひいたんじゃない？」のようなノデハナイカ、「だから気をつけなさいって言ったじゃない！」のようなジャナイカがある。

ジャナイカは、日本語記述文法研究会(編)(2003)によると、次の(1)のように「話し手と聞き手が同一の知識状態にある事態を聞き手に想起させたり、気づかせたりする」(p.40)いわゆる確認要求の機能と、(2)のように「話し手がその場で発見したことをさまざまな感情表出を伴いながら述べる独話用法」(p.182)がある、

(1) ほら、高校の同級生で田中さんっていたじゃない。覚えてない？

(2) [探し物が見つかって] なんだ、こんなところにあるじゃないか。

否定疑問とノデハナイカは話し手が事態の肯定に傾いていることを表すという共通点がある。ただし、宮崎(2002:206)が指摘するように、否定疑問は「話し手の認識が文脈と対立する方向に傾いている場合」に使われるのに対し、ノデハナイカの使用にはそういった制約はない。

(3) 髪が濡れてるけど、君、傘 {*持ってたか/持ってなかったか} ? (宮崎 2002:206)

(4) [震えている人に] {寒い/#寒くない/寒いんじゃない} ? (宮崎 2002:206)

宮崎(2004)は、否定疑問とノデハナイカを次のように整理している。広義名詞述語の否定疑問形式は、思考動詞の引用文中の生起や「タブン」との共起が可能であるといった特徴があるという。

表1 宮崎(2004)による否定疑問とノデハナイカの関係(一部簡略化)

動詞・形容詞述語の 否定疑問形式	広義名詞述語の否定疑問形式	
	名詞述語の否定疑問形式	ノデハナイカ
降っていないか 寒くないか	雨ではないか	降っているのではないか 寒いのではないか 雨なのではないか

また、名詞述語の否定疑問形式と同じ形であっても、事態の肯定に傾かない場合もある。

(5) (1ガ素数デナイト君ハ言ウガ得心デキナイ。)本当に1は素数じゃないか? (田野村 1988:122)

3. 日本語の漫画とそのフランス語訳における否定表現の異同(野田 2019)

3.1 調査の概要

[調査対象] 『アオハライド 1』, 咲坂伊緒(作), 集英社, 2011

Blue spring ride 1, Misato Raillard(訳), Kana, 2013

『四月は君の嘘 1』, 新川直司 (作), 講談社, 2011

Your lie in April 1, Géraldine Oudin (訳), K-oon, 2015

『リアル 1』, 井上雅彦 (作), 集英社, 2001

Real 1, Thibaud Desbief (訳), Kana, 2005

[調査項目]

いわゆる否定文だけでなく、テクレナイカによる依頼、ジャナイカ、ノデハナイカ、カモシレナイ、ナケレバナラナイ等も含む。

表2 3作品全体の否定表現とフランス語訳の対応と非対応

日本語の否定表現 460	139	(フランス語の否定表現なし)
	321	
(日本語の否定表現なし)	246	フランス語の否定表現 567

[調査結果の概観]

- ・否定表現は日本語のみで使われている例より、フランス語訳のみで使われている例のほうが多い。
- ・フランス語訳のみ否定表現になっている 246 例のなかには、次のようなものがある。

日本語のほうにも否定的な性質がある例 (否定的語彙, 否定接辞等) : 108 例

(6) 今だめ (アオハライド, p. 10)

Pas maintenant. (直訳: 今じゃない.)

情報の補足による否定の出現: 54 例

(7) 男子なんかとはちよつと… (アオハライド, p. 8)

Je n'ai pas envie de me mêler aux garçons. (直訳: 私は男子の中に混じりたくない.)

- ・日本語のみ否定表現になっている 139 例のなかには、次のようなものがある。

日本語の基本的な否定表現のフランス語訳が通常の肯定になっているもの: 28 例

(8) 俺がいなけりゃ車は買わなかつただろう (リアル, p. 138)

C'est à cause de moi que tu as acheté une voiture. (直訳: お前が車を買ったのは俺のためだ.)

3.2 確認要求と付加疑問

表3 確認要求表現のフランス語訳の内訳 (調査対象部分のみ)

	じゃない (か)	じゃん	だろう	ね/な	よね
確認要求→ [対応なし]	10	—	—	—	—
確認要求→非難疑問	2	—	—	—	—
確認要求→付加疑問	0	3	11	4	3

(9) 楽しくやればそれでいーじゃねーかよ (リアル, p. 72)

Le plus important, c'est de s'amuser. (直訳: いちばん大切なのは楽しむことだ.)

(10) 部活中でしょ (四月は君の嘘, p. 17)

Tu es en plein entraînement, non?!

確認要求表現はフランス語訳で付加疑問になることがあるが、ジャナイカが付加疑問で訳された例はない。

4. 会話コーパスにおける否定表現

4.1 先行研究

ザトラウスキー (2019) は、試食会の談話コーパスを資料として「P ない?」(否定疑問, デハナイカ, ノデハナイカ含む)「P じゃん」「P だろう」の使用を観察している。「P ない?」の使用が 30 歳未満の発話者に多く、主張を表す例があること、「P ない?」に他の発話者の「P ない?」が続く例があること等が指摘されている。

4.2 調査の概要

[調査対象コーパス]

名大会話コーパス（大曾美恵子代表による．合計約 100 時間の日本語母語話者同士の雑談を文字化したコーパス．方言含む．親しい間柄の雑談が多いが，初対面や先輩・後輩の会話も含む）

現日研・職場談話コーパス（現代日本語研究会（編）『女性のことば・職場編』『男性のことば・職場編』（ひつじ書房，合本 2011）が元．女性 19 名，男性 21 名の職場での朝，会議・打ち合わせ，休憩時の談話）

[検索方法と件数]

中納言 2.4.2 の短単位検索を利用．語彙素「ない／ず／無い」及び「じゃん」で検索．

名大会話 検索総数 28823 件 除外（誤解析，意味不明）436 件 → 考察対象 28387 件

職場談話 検索総数 4068 件 除外（誤解析，意味不明）46 件 → 考察対象 4022 件

[調査結果]

表 4 会話コーパスにおける否定表現の出現状況

名大会話				職場談話			
分類	件数	割合	疑問	分類	件数	割合	疑問
基本的な否定	18722	66.0%	838	基本的な否定	2620	65.1%	61
ジャンナイカ類	3494	12.3%		ジャンナイカ類	344	8.6%	
評価（必要）	1654	5.8%	3	評価（必要）	316	7.9%	
ノデハナイカ類	1554	5.5%		ノデハナイカ類	269	6.7%	
語内・慣用	967	3.4%	3	語内・慣用	213	5.3%	
モダリティ	840	3.0%	1	モダリティ	109	2.7%	
モダリティ否定	304	1.1%	3	モダリティ否定	49	1.2%	
評価（不必要）	193	0.7%		評価（非許容）	22	0.5%	
二重否定	160	0.6%	41	イケナイ類	19	0.5%	
評価（非許容）	142	0.5%	2	ノダ否定	18	0.4%	
イケナイ類	135	0.5%	2	評価（不必要）	18	0.4%	
ノダ否定	95	0.3%		否定依頼・禁止	10	0.2%	
否定依頼・禁止	82	0.3%		評価（許容）	8	0.2%	
依頼・勧誘	23	0.1%	23	二重否定	3	0.1%	
評価（許容）	11	0.0%		依頼・勧誘	2	0.0%	2
後悔	11	0.0%	1	後悔	2	0.0%	
	28387		917 (3.2%)		4022		63 (1.6%)

- ・基本的な否定には，形容詞「ない」による非存在も含む（名大会話 3478 件，職場談話 483 件）．
- ・評価（必要）はナケレバナラナイのように否定辞を 2 つ含む形が多いため，実数は表の約 1 / 2 である．
- ・二重否定も同様に，実数は表の 1 / 2 である．二重否定の疑問の 41 例は「やること，なくない？」のような否定疑問の例であり，通常の「できなくはない」のような二重否定ではない．
- ・「モダリティ」は主にカモシレナイ類，「モダリティ否定」は主にワケダの否定である．
- ・「疑問」には，ノカ疑問文，納得の力は含まない．傾きのある文もない文も含む．

[調査結果の概観]

- ・ 2 種のコーパスにおける否定表現の使用の傾向は類似している．

- ・否定疑問より、ジャナイカ類（「じゃん」含む）、ノデハナイカ類（「名詞+デハナイカ」含む）の使用が多い。ジャナイカは共有知識を確認してその後の話の前提とする用法があること、2. で見た宮崎（2002）の指摘のように、ノデハナイカ類は否定疑問に比べて使用の制約がないことが関係していると考えられる。
- ・評価のモダリティ表現（ナケレバナラナイ（必要）、ナクテモイイ（不必要）等）、否定辞を含む語（スママセン、ショウガナイ等）や慣用表現（アリエナイ等）のように多様な表現が現れている。

4.3 会話例の観察

ジャナイカ類による確認要求に対して、話を促すようにあいづちを重ねて打つ例が多く見られる。

(11) F013 (女性 60 代前半)：で、そういうことは全然わたしなんか知らないじゃない。

F098 (女性 60 代前半)：うんうんうん。 (名大会話)

一方、ジャナイカ類による確認要求に対して、異なる意見をジャナイカ類で返す例も見られる。

(12) F050 (女性 20 代後半)：いろいろ起きるじゃない。

F042 (女性 50 代後半)：でも飽きるじゃない。 (名大会話)

ノデハナイカ類にも同様の例がある（例 (13)）。直接の応答はせずに会話を続ける例もある（例 (14)）。

(13) M034 (男性 20 代後半)：先生に対する不信感なんて別に持たないんじゃない？

F004 (女性 20 代後半)：持つんじゃないーい？ (名大会話)

(14) F032 (女性 60 代後半)：向こうも慣れてんじゃない、そういう人多いんじゃない？<笑い>

F098 (女性 60 代前半)：でも後ろの人がかわいそうよ。 (名大会話)

名大会話のほうが否定疑問の割合が高いのは、相手が考えていないことについて話し手の傾きを示しながら問う次のような文が雑談に多いからだという可能性がある。

(15) F033 (女性 20 代後半)：大体、バス道から行くなって思わん？

F056 (女性 20 代前半)：あの時間にね、まちがっているよねえ。 (名大会話)

5. おわりに

日本語の広義の否定表現は円滑な会話のために重要であり、音声面も含めたさらなる考察が必要である。

付記 本研究は、科学研究費（学術研究助成基金助成金）基盤研究(C)「話し言葉における使用実態調査に基づく日本語の否定表現の使用傾向の研究」（2018-2020 年度，課題番号 18K00630，研究代表者：野田春美）の成果の一部である。

参考文献

- 藤村逸子・大曾美恵子・大島ディヴィッド義和（2011）「会話コーパスの構築によるコミュニケーション研究」
藤村逸子・滝沢直宏（編）『言語研究の技法：データの収集と分析』ひつじ書房，pp. 43-72.
宮崎和人（2002）「確認要求」宮崎和人・安達太郎・野田春美・高梨信乃『モダリティ』くろしお出版，pp. 203-227.
宮崎和人（2004）「否定疑問文の類型について」『岡山大学言語学論叢』11，pp. 1-15.
日本語記述文法研究会（編）（2003）『現代日本語文法 4 第 8 部モダリティ』くろしお出版
野田春美（2019）「日本語の漫画とフランス語訳における否定表現の異同」『人文学部紀要』38，神戸学院大学
人文学部，pp. 51-66.
ザトラウスキー，ポリ（2019）「自然談話に見られる否定疑問文の形式，使用数，相互作用における機能」『日本語学会 2019 年度春季大会予稿集』pp. 73-80.
田野村忠温（1988）「否定疑問文小考」『国語学』152，pp. (左) 16-30.